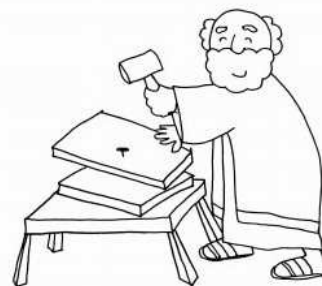


# ただひと ひとりの正しい人

はこぶね  
ノアの箱舟(1) そうせいき 創世記 6:1~7:5



1. そうせいき 創世記 6 章 5~7 節を<sup>しょう</sup>読んで、( ) に<sup>ただ</sup>正しいことばを入れてね。

<sup>しゅ</sup>主は、<sup>ちじょう</sup>地上に ( ) が<sup>ぞうだい</sup>増大し、その ( ) に<sup>はか</sup>計ることがみな、  
いつも ( ) ことだけに<sup>かたむ</sup>傾くのを<sup>らん</sup>ご覧になった。そして<sup>しゅ</sup>主は<sup>おお</sup>仰せられた。  
「わたしが ( ) した人を<sup>ち</sup>地の<sup>めん</sup>面から ( ) 。  
わたしは、これらを<sup>つく</sup>造ったことを ( ) に<sup>おも</sup>思うからだ。」

2. ノアはどんな人でしたか (8~9節) ? <sup>ただ</sup>正しいと思<sup>おも</sup>うものを○で<sup>かこ</sup>囲んでね (いくつでも)。

おもしろい人 <sup>ひと</sup>	かっこいい人	<sup>ただ</sup> 正しい人	だらしない人	偉い人 <sup>えら</sup>
こわ <sup>こわ</sup> 怖い人	かねも <sup>かねも</sup> 金持ちな人	わる <sup>わる</sup> 悪い人	神さまの <sup>こころ</sup> 心にかなう人	
やさしい人	つみびと <sup>つみびと</sup> 罪人	まった <sup>まった</sup> 全き人	神さまとともに <sup>あゆ</sup> 歩む人	

3. 正しいと思<sup>おも</sup>うものに○をしてね (いくつでも)。

( ) 神さまは、<sup>ただ</sup>正しい人も<sup>わる</sup>悪い人も<sup>くべつ</sup>区別なく、<sup>らんぼう</sup>乱暴な<sup>さば</sup>裁きをするお方です  
( ) 神さまは、<sup>み</sup>たったひとり<sup>お</sup>正しい人を見<sup>み</sup>落としたり<sup>お</sup>しません  
( ) ノアは、<sup>ちい</sup>小さいことに<sup>ふちゆうじつ</sup>不忠実で、<sup>かげん</sup>何でもいい<sup>じょうず</sup>加減にごまかすのが<sup>じょうず</sup>上手でした  
( ) ノアは、<sup>ほか</sup>たとえ<sup>ほかに</sup>他の人に<sup>わら</sup>笑われても、<sup>さいご</sup>最後まで<sup>したが</sup>みことばに<sup>とお</sup>従い<sup>したが</sup>通す人でした

4. あなたは、今日から、どんなことを<sup>ちゆうじつ</sup>忠実に<sup>けっしん</sup>していきたいですか? <sup>か</sup>決心したことを<sup>か</sup>書いてみよう!